



号外

2022年3月 発行 理事会

生活クラブ生活協同組合

〒524-0044 守山市古高町110番地8

077-514-2028 組合員数 3,148名

# 即時、戦争を止めるよう意見を表明します。

3月3日、生活クラブ連合会と滋賀県生活協同組合連合会が、ロシアへ意見表明を行いました。

ロシア大使館へ戦争を止めるよう、はがきを出す。ロシア大使館などのツイッターに戦争を止めるよう投稿する…できることは小さいことですが、戦争を止めるために、わたしたちひとりひとりができることを考え、行動しましょう。

サステイナブルなひと、  
**生活クラブ**

生協の食材宅配【生活クラブ】  
国産、無添加、減農薬、  
こだわりの安心食材を宅配します。

生活クラブホームページより

## ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に反対する会長声明

意見表明 平和 掲載日:2022年3月3日

2022年3月3日

生活クラブ事業連合生活協同組合連合会 代表理事会長 伊藤 由理子

ロシアがウクライナを軍事侵攻し、ウクライナに暮らす市民の暮らしが破壊され、両軍の兵士も含め大ぜいの死傷者が発生し、近隣諸国に逃れた難民が100万人に達しています。今回、ロシアは核兵器の使用さえ仄めかしています。ヒロシマ・ナガサキの惨禍を経験した被爆国として、そして東日本大震災による東京電力福島第一原発の過酷事故による大規模な放射能汚染を経験した国として、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に反対し、断固抗議します。核兵器を含む一切の武力行使の即時停止と軍の即時撤退を求めます。

いかなる戦争にも大義などありません。尊い命を奪い合う愚かな道を日本が二度と歩んではならない、どれだけ時が経とうとも、決して忘れてはならないことです。日本国憲法の不戦の意思を世界へ広げていくことこそ、世界の人々に期待されている日本の役割ではないでしょうか。日本政府に対して、武力によらない平和外交でのリーダーシップを求めます。この機に乗じて憲法第9条の改定を狙う政治的動きに対して強い危惧を表明します。

私たちは、「FEC自給ネットワーク」構想（F=食料、E=エネルギー、C=ケア）にもとづき、国内・地域での自給力向上をめざす活動に取り組んでいる生活協同組合です。これまで、国内の生産者とともに食料の自給力向上に取り組み、国外の生産者とも健全で対等な交易関係をつくってきました。2011年の原発事故以降は、再生可能エネルギーの自給力向上にも取り組んでいます。自給力の低い日本が、自らのために他国から食料を買い漁らなくてすむように、そして、食とエネルギーを、未来の世代から奪わないためにです。また、協同組合の連携をはじめとして、市民レベルの国際交流をつうじて平和をめざす活動をすすめています。

今回の軍事侵攻は、こうした市民の自発的で自由な未来の社会づくりの土台が覆される事態と憂慮します。今の日本社会を構成する主体として、私たちは、子どもたち、またその子どもたちの「殺さない権利」「殺されない権利」を守り抜く責任があります。そしてサステイナブルな環境と社会を手渡すことこそ、最大の知恵と努力を傾けるべきだと考えます。

私たちは、生活クラブ連合憲章\*のなかで、「生活クラブ連合会は、サステイナブルな経済・社会・文化の基盤となる平和と環境を守るため、常に非戦と共生の立場を貫きます。」と宣言しています。この協同組合としての考え方に則り、人々の暮らしの大前提である平和を守るために、私たちは、一切の軍事侵攻に反対します。

以上

\*生活クラブ連合憲章はこちら

## 声明文「ロシア軍によるウクライナ侵攻に強く抗議します。」の発出について

目的 滋賀県生協連会長理事発出の声明文として、ロシア国のプーチン大統領あてにウクライナ侵攻と核兵器使用の示唆について強く抗議し、即時停止と完全撤回することを目的に、ロシア大使館へ送付します。

---

ロシア連邦大統領

ウラジーミル・ウラジーミロヴィチ・プーチン 閣下

駐日ロシア連邦大使

ミハイル・ユリエビッチ・ガルージン 閣下

### 声明文：ロシア軍によるウクライナ侵攻に強く抗議します。

滋賀県生活協同組合連合会は、2022年2月24日に開始されたロシア軍によるウクライナ侵攻について、ロシア政府に抗議し、武力行為の即時停止を求めます。

この侵攻は、明らかにウクライナの主権および領土の一体性を侵害し、武力の行使を禁ずる国連憲章の重大な違反であり、国際秩序の根幹を揺るがすもので、断じて容認できません。またプーチン大統領が核戦力を念頭に、抑止力を特別警戒態勢に引き上げるよう命じ、核兵器使用も辞さない行為を示唆したとされることは、戦争被爆国である日本国民として強く抗議します。今年1月にロシアを含む核保有5か国の共同声明として「核戦争に勝者はなく、決して核戦争をしてはならない」と世界に表明した直後の行為であり、大きな失望感を抱かざるを得ません。

私たち生活協同組合は、いかなる戦争も許さず、核兵器廃絶を共通の願いとして、被爆者の方々とともに核兵器のない平和な社会を求める活動をすすめてきました。ウクライナの市民はもとより、必ずしもこの軍事侵攻を支持しているものではないロシアの市民が、平和な日常生活を一日も早く取り戻すことを切望します。そのために、国際社会が対話と外交を通じた最大限の努力をおこなうことを願うものです。

#### 記

- 1、ロシア軍によるウクライナへの侵攻および武力行為の即時停止を求めます。
- 2、核兵器使用を示唆したとされることに対して、完全撤回を求めます。

2022年3月3日

滋賀県生活協同組合連合会  
会長理事 北川 紀子